



活用ガイド

初級者編

Vol. 1

2021.03

ジャパン・ペンション・ナビゲーター株式会社

加入者サイト「DCナビ」に掲載されているコンテンツを「初級者編」と「中上級者編」に分けて全4回でご紹介します。

初級者向けコンテンツ集をみましょう！

「確定拠出年金に加入して、DCナビにログインしたけど、なにを見たらいいかわからない…」そんな声にお応えし、加入して間もない方や、今まで元本確保型商品を中心に運用してきた方に向けて、DCナビの「初級者向けコンテンツ集」を作成しました。マイページ下部のバナーより遷移しますのでぜひアクセスしてみてください。

今回は「初級者向けコンテンツ集」に掲載のコンテンツを、お悩み相談形式でご紹介していきます。



お悩み
その1

そもそも確定拠出年金ってなんなのか、よくわからない・・・

3つの動画で基本をおさらい！

動画でわかる！ 確定拠出年金のきほん

確定拠出年金（DC）の基礎を、掛金くん、ジロー課長、ユウキくんの3人のかけあいで、やさしく解説。ご自宅やお勤め先で楽しみながら学べます。

「入社した時に確定拠出年金に加入したけど、実はよくわかってないんだよね」、「セミナーに出たけどよくわからなかったから商品は定期預金にして、ずっとそのままになっているんだよね」。

そんな方におすすめなのが、「動画でわかる！ 確定拠出年金のきほん」です。約10分のアニメーション動画3本を見ることで、確定拠出年金の基本をおさらいできます。

DCの税制メリットやリスクとリターンのお考え、各運用商品の特徴をもう一度おさらいして、ご自身の資産配分は今のままでよいか、考えてみてください。

確定拠出年金制度ってなに？

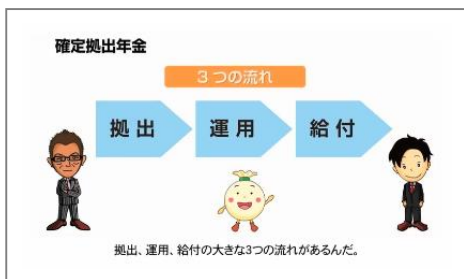
10分

知っておきたい！
投資の基礎

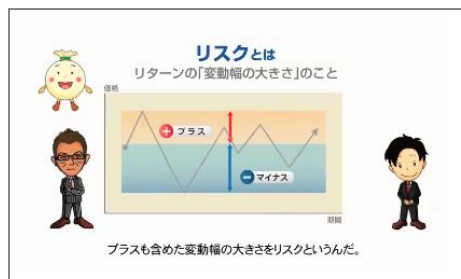
9分

運用商品のしくみ

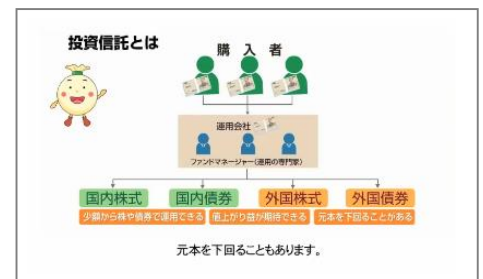
11分



DCに関する重要なポイントを、掛金くんが分かりやすく解説します。



親しみやすいアニメとやさしい言葉で資産運用について解説します。



図やグラフ等により、視覚的にも楽しみながら運用商品の特徴が理解できます。



確定拠出年金に関する情報やシミュレーションが満載！

どちらでもOK

PC スマホ

DCナビ



または <https://www.j-pec.co.jp/select/>

※ログインの際にはIDとパスワードをご用意ください。

※プラン選択画面が表示されますので、ご利用のプランをクリックしてください。



お悩み
その2

最新情報や、旬の話題が知りたいんだけど・・・

DCの基本から税制、時事ネタまで網羅！

J-PECLレポート

「J-PECLレポート」では、制度のしくみや資産運用の基礎知識のほか、その時々旬なトピックスなど、確定拠出年金にまつわるテーマを幅広く取り上げています。

「確定拠出年金の法律が変わるって聞いたけど?」、「ESG投資ってなに?」という方におすすめなのが毎月発行のJ-PECLレポートです。バックナンバーは「制度」「運用」「商品」「手続」「その他」の5つのカテゴリ別に過去2年分を閲覧できます。ぜひ毎月チェックしてください。

バックナンバーのタイトル (例)

カテゴリ	タイトル
制度	確定拠出年金制度が改正されます 企業型DCの主な改正内容をお知らせします
制度	DCには老齢給付金以外にどんな給付がある? 障害給付金、死亡一時金について確認しておきましょう
制度	DCの老齢給付金いつ受け取る? 受取方法やタイミングで税金が変わります
運用	円高・円安ってどういこと? 資産運用にはどう影響するのでしょうか
運用	市場が大きく動いたときは、資産配分をチェックしよう
運用	投資はギャンブルのようなもの!? 投資と投機の違いとは
商品	リート (REIT) について知っていますか。不動産に投資する金融商品です
商品	ESG投資って知ってますか? 近年注目を集める投資手法です
手続	運用商品の変更には2つの手続きがあります「運用商品預替」と「運用割合変更」
その他	よくある質問 FAQサイトを活用しよう!

J-PECL Report 11月

DCの老齢給付金いつ受け取る? 受取方法やタイミングで税金が変わります

確定拠出年金 (DC) の老齢給付金は、原則として60歳から受け取ることができます。受取方法は、一括で受け取る「一時金」と、分割して受け取る「年金」があります。いつ受取開始するかは70歳までの間で好きなタイミングを選択できます。自分のライフプランに合わせて、受け取るタイミングを考えましょう。

受取方法によって税額は異なる

また、受取時の税金を考慮することも大切です。一時金で受け取る場合は退職所得控除、年金で受け取る場合は公的年金等控除が適用されます。控除額が多ければ課税対象額が少なくなり、結果として税額が減ります。受取方法を検討するうえで必ず確認し、60歳で受取開始し、退職前まで65歳まで働くと「控除」として、課税対象額がDCから、ケースによっては、さらに追加一時金控除があります。ケースによっては控除の適用範囲が広く、課税対象額が少なくなり、一時金で受け取るよりも、年金で受け取る方が有利な場合があります。

【図2】老齢給付金受け取り方の例

ケース1は、60歳で退職時に一括一時金を受け取り、住宅ローン返済に充てます。DCにはそのまますべてを積み立て、70歳で一括一時金を受け取ります。その際は、60歳時に適用した退職所得控除を繰戻し、繰上りで計算されます。ケース2は、本来65歳から受け取る公的年金を70歳まで繰り下げて額を増やそうとすると、その代わりにDCで65歳から5年分、年金を受け取ります。1年あたり100万円の場合、公的年金等控除額は110万円となり、他に所得があれば所得税額は年間約10万円です。

DC以外に退職金がある場合、それも含めて退職所得を計算

ケース1は60歳の定年退職時に退職一時金を受け取り、住宅ローン返済に充てます。DCにはそのまますべてを積み立て、70歳で一括一時金を受け取ります。その際は、60歳時に適用した退職所得控除を繰戻し、繰上りで計算されます。ケース2は、本来65歳から受け取る公的年金を70歳まで繰り下げて額を増やそうとすると、その代わりにDCで65歳から5年分、年金を受け取ります。1年あたり100万円の場合、公的年金等控除額は110万円となり、他に所得があれば所得税額は年間約10万円です。

DCの受取方法を検討するポイントは3つ。

1. 資金が必要な時期、金額を明確にする。
2. 税額を確認する。
3. 自分が受け取る年金、他の所得も含めて税金、手数料など総合的に検討する。



お悩み
その3

投資信託で運用してみたいけどなかなか踏み出せない・・・

運用しているつもりになって気になる商品の運用成果を確認できる!

おためし運用

実際に商品を購入しなくても、おためし運用できるシミュレーションです。なかなか運用に踏み出せない人も、プランの商品ラインアップの中から商品を選択し、運用したつもりになって運用成果を確認できます。

最長で6か月前に遡り、そこから1年6か月の間、実際の商品を毎月購入した場合の資産額をシミュレーションできます。投資信託を購入した経験がなく、なんとなく「運用が怖い」と感じている方は、この「おためし運用」から始めてみましょう!

選択できる運用商品と運用割合の設定

運用商品	割合	運用開始
DC年金2257円	6%	○
日本株式インデックスファンド	10%	○
日本株式成長株ファンド	10%	○
DC日本のユーティリティ	10%	○
日本債券インデックスファンド	10%	○
DC全日本債券ファンド	10%	○
日本債券インデックスファンド	10%	○
外国株式インデックスファンド	10%	○
DC外国株式オープン	10%	○
DC外国債券オープン	10%	○

資産額 (円) の推移グラフ

その他の 初級者向け コンテンツ

- 動画でわかる! もっと知りたい! 確定拠出年金
 - おさえておきたい公的年金
 - ここがポイント! 基準価額
 - 知ってるつもり? 元本確保型商品
 - 考えてみる? ライフプラン
- 確定拠出年金ナビゲーター
- マネーガイド (日経小冊子)
- 掛金くんのつぶやき